

ボランティア募集

兵庫民医連では、毎年11月と年末に、「神戸の冬を支える会」と一緒にホームレス支援を行っています。主には医療・福祉の相談、炊き出しです。

医療のことがあまりわからない・・・、でも興味ある!!という方、またとりあえずやってみたい方、もちろん医療系学生さん、医療従事者も大歓迎です。病院スタッフと一緒に参加しませんか？

対象者： 医師・看護師を目指す高校生
医学部生・看護学生・薬学生

① 野宿者健康相談・法律相談

日 程： 11月6日(土) IN 武庫川

集合場所： 武庫川河川敷大橋東詰下(国道2号線の橋の尼崎側)

集合時間： 12:30(11:30に尼崎医療生協病院玄関前集合)

内 容： グループに分かれて、ホームレスの方へ聞きとりを兼ねた、医療・福祉相談に回ります。



② ホームレス炊き出し・医療相談

日 程： 12月28日(火) IN 三宮東遊園地

集合場所： 三宮東遊園地

集合時間： 10:00(9:40にJR三ノ宮駅西口改札前集合)

内 容： 炊き出し、医療相談を行います。



※当日は病院スタッフ(医師・看護師・事務)とテント張りから行います。

※動きやすい服装でご参加ください。



お気軽にご参加ください!

詳細・お申し込みは

兵庫民医連 ホームレス支援ボランティア係まで

メール: igakusei@hyogo-min.com

TEL: 078-303-7351(代表)



昨年もたくさんの医学生・看護学生・高校生がボランティア活動に参加しました。
参加した学生の感想を紹介します。

「ギャンブル依存や精神疾患で野宿生活になられた方がいたので、医療者がホームレス支援に関わることで、社会復帰の道が開けるのでは・・・と感じた。」

(熊本大学医学部5年生)



いっぱい野菜とか切ったりして楽しかった。手がつめたくて動きにくかったけど、出来上がってみんなに配るとき、たくさんの方が「ありがとう」って声をかけてくれたので、すごくうれしかったです。

(神戸龍谷高校2年生)

住所がないと仕事も見つけれないし、生活保護も受けられないという悪循環になっていることを知ったので、何とかこの制度を改善できないかと思った。

(兵庫県立大学看護学部1年生)

昨年の取り組みは、「派遣切り」が問題になる中行われ、神戸新聞でも取り上げられるなど、社会的にも注目されました。



炊き出しを待つ列。

神戸新聞 | 社会 | 炊き出しで凍えた体温めて 神戸・東遊園地 1/3 ページ

神戸新聞 THE KOBE SHIMBUN

ニューズ 須磨 明石 緑地

2010年 01月04日

社会 記事

炊き出しで凍えた体温めて 神戸・東遊園地

厳しい雇用状況が続く年の瀬に、路上生活者らへ炊き出しを提供する「神戸冬の家」が28日、神戸市中央区の東遊園地で始まった。定職のない人々などが長い行列をつくった。1月5日まで。

ボランティアが作ったビーフシチューやミカンなどを振る舞った。列に並んだ男性(38)の所持金は200円。建設会社の寮で暮らしたが、仕事が少なく、食費や滞在費として1日4千円徴収されると赤字になり、最悪け出した。「来年こそ生活を立て直したいけど、ちゃんと仕事が見つかるだろうか」とつぶやく。

炊き出しは毎日午後0時半ごろから。午前11時～午後3時に生活・医療相談も行う。主催団体の一つ「神戸の冬を支える会」の青木茂幸事務局長(53)は「一人一人のニーズにあった選択肢を示し、落ち着いた生活ができる支援をしたい」と話した。

(小林伸哉)

(2009/12/28 15:10)